

# わたしが県職員を選んだ

## 理由



地元の市役所と迷いましたが、自分の生活圏域と程よく距離のある県庁の方が働きやすいのではと思って県を選びました。



学校で学んだ分野で地元へ貢献したいという気持ちと、民間と違い利益を求めずサービスを提供する形に魅力を感じたから。



進学先の首都圏の自治体も受験しており面接日が重なってしまいました。その時、「島根県のためにやりたいこと」の方が面接で語れると思い、島根県を選びました。



県内で転勤があること、石見、出雲、隠岐、異なる気候風土、気質の中で生活することができるから。



都会の満員電車が嫌で田舎に帰ろうと思いました。



生まれ育った島根県で生活し、活躍できる場と思ったから選びました。1つの地域、仕事の内容に留まること無く、島根県全体のために能力を発揮できるやりがいのある職業だと思います。



島根で見つける、

## 可能性。の

H I N T

現役の島根県職員から寄せられた県職員のホンネの一部を紹介します。

子どもや保護者の笑顔に直に触れられることは大きな魅力であり、やりがいに通じていると感じます。



未知の分野に携わることになり、何もわからなかった状態から、県民の方に御礼を言われたり、自分自身の視野の広がりを感じることができた時。



「ありがとう」、「お疲れさま」の一言を県民の方から頂いた時。



若手であっても上司や先輩職員が「意見」を聴いてくれることが嬉しいです。アイデアが採用されたときは「本当にいいのだろうか」と戸惑いますが、周りのフォローが手厚いので、不安を感じません。



やりがいというよりも、自分がやらなければという使命感の方が強い。



県民の方と接する機会も少なく裏方的な存在ではありますが「どうしたら県職員が安心して、県民の皆様により良いサービス等を提供できるか」を常に考えて勤務にあたっているため、常にやりがいを感じています。



# 県職員になって感じる仕事の

## やりがい

